

当院にて肝細胞癌、胆道癌、膵臓癌でご加療された方へ

当院では「癌微小環境の宿主免疫が消化器癌治療に及ぼす影響の研究」を実施しております。この研究は金沢大学附属病院消化器内科が中心となって、肝細胞癌の患者さんの新しい治療法を開発するために行われる研究です。

【対象となる方】2006年1月1日より2017年3月31日までの間に当院で肝細胞癌、胆道癌、膵臓癌と診断され、手術による治療を受けた方

【研究の意義】肝細胞癌、胆道癌、膵臓癌に関する新たな知見が明らかになります

【研究の目的】肝細胞癌、胆道癌、膵臓癌患者さんにおける免疫機能の影響を検討します

【研究の方法】この研究は、文部科学省及び厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、金沢大学医学倫理審査委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療で得られた手術検体やカルテに記録されている血液検査、画像検査結果などのデータを収集し、手術検体については特殊な免疫染色を行って、治療成績に関連する因子を調べます。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【研究の期間】この研究は、2016年2月17日（金沢大学医学倫理審査委員会承認後）から2021年3月まで実施します。

【予想される利益と不利益】この研究の成果として、肝細胞癌、胆道癌、膵臓癌に関する新たな知見が明らかになる可能性があります。研究結果は、個人が特定出来ない形式で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと保存されますが、予期できない理由により個人情報情報が漏洩する危険性があります。ただし、この研究で使用するデータは、患者さんのお名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。データの調査のときに個人情報情報が漏れないように、この一覧表は、データとは別に取り扱います。なお、この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。

【研究への参加の自由と同意撤回の自由】この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、2017年6月30日までに下記の研究事務局まで御連絡ください。この研究への参加はあくまでも自由意思によるものであり、不参加を申し出ても今後の治療などにおいて一切不利益を被ることはありません。ただし、不参加を申し出た時点ですでに研究の解析が終了している場合は、情報を破棄できない場合もありますのでご了承ください。なお、ご連絡をいただかなかった場合、ご了承ください。ご了承ください。

【その他】この研究の計画書や研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

平成29年6月

【研究機関名】 金沢大学医薬保健研究域医学系恒常性制御学、金沢大学附属病院 消化器内科 1

【問い合わせ窓口】

住所：石川県金沢市宝町13-1

電話：076-265-2235 FAX：076-234-4250

医療機関名 金沢大学附属病院

診療科名 消化器内科

研究代表者 金子周一

問い合わせ担当者名 寺島健志